

東北町議会だより

第10号

発行 東北町議会
編集 東北町議会広報
特別委員会
電話 0176-56-3111
内線 310
住所 東北町上北南
四丁目32-484



10/31 東北町立甲地小学校校舎改築工事合同安全祈願祭

主な内容

・主たる行政報告	2 P
・9月定例会で審議された議案	6 P
・決算審査報告要旨	7 P
・一般質問	7 P
・各種委員会及び協議会の活動	12 P
・委員会報告	13 P
・第1回臨時会	18 P

9月定例会 行政報告



3819年度普通交付税
38億1523万1千円に決定

財政課関係

要望活動進む

建設課関係

7月31日、平成19年度の普通交付税額が38億1523万1千円に決定されました。これは、当初予算計上額に対するは、1億1523万1千円の増となるものであります。依然として厳しい状況にあります。

地方公共団体の財政の健全化に關する法律が6月22日に公布され、財政の健全化が強く求められており、今後とも財政改革を推進するとともに、新町の町づくりに留意しつつ、より慎重な財政運営に努めて参りたいと思つてあります。

尚、財政厳しい状況であります。またが、9月補正後、基金残高は約9億3千万円（財政調整基金、減債基金）となつております。

特に、防衛施設庁では、江渡先生のご配慮を賜り、木村太郎安全保障委員長同席のもと、私どもが要望している「三沢飛行場及び航空自衛隊第4補給処東北支処の運用による障害緩和と生活環境整備に関する」10項目の要望について、防衛施設庁トップの北原長官からそれぞれ前向きな回答を頂いて参りました。

国土交通省本省においては、峰久国土交通審議官（現在事務次官に就任）を始め、宮田道道路局長に対し、一般国道45号「上北道路」の整備促進並びに「上北横断道路」の早期完成の要望をして参りました。

外3路線について、すでに発注済で、いざれも今年度は天候に恵まれたこともあり、順次に移転ということで、7月17日から20日までの4日間

日から28日にかけて議会の皆様と防衛施設庁、仙台防衛施設局並びに国土交通省本省、要望活動を行つております。

尚、最近の情報として、今年度中に鶴ヶ崎→船ヶ沢→田ノ沢に至る無築堤区間の調査測量設計に入り、一部、鶴ヶ崎地区の工事に着手の予定と伺っております。

又、在日米軍の再編に絡んで、今、三沢基地も大きな態様の変化の中で様々な動きがありました。基地再編の受け入れにあたつては、基地強化に繋がる負担増になることから、議員皆様のご理解を頂いて、苦渋の選択をしました。

一つは、沖縄に集中してい

調に推移しております。

更には、私が期成同盟会長を仰せつかっております、高瀬川流域改修促進期成同盟会並びに七戸川改修促進期成同盟会の2同盟会で、8月6日から7日にかけて、三沢市の副市長・七戸町の副町長、その外関係土地改良区の理事長からご参加を頂き、国土交通省本省、国土交通省東北地方整備局に要望活動を行つております。

【議会の動き】

七月

1日　自由民主党演説会
5日　全国市議会議長会基協議会理事会
6日　基地対策特別委員会全員協議会
7日　中部上北議会協議会理事会
8日　東北町民大運動会
9日　県下町村議會議員研修会
10日　防衛庁訪問
12日　高松義武元議員通夜
18日　鶴ヶ崎昂元議長通夜
19日　門松河川局長、谷口技官に、
20日　高瀬川（小川原湖）流域の改修事業の促進を要望して参りました。
21日　県下町村議會議員研修会
24日　鶴ヶ崎昂元議長通夜
25日　東北町納税貯蓄組合連合会定例総会
28日　県民体育大会結団式
29日　わかさぎマラソン大会
　　湖水まつり開幕式・安
　　全祈願修ばつ式・よさ
　　こいまつり・花火大会
　　公立松風荘「夏まつり」

八月

1日　新幹線・鉄道問題対策特別委員会県内調査
2日　特別委員会県内調査
4日　けやき寮夏まつり

嘉手納基地のF15戦闘機が三沢基地へ移転、基地内での訓練は行わなかつたものの、航空自衛隊第3航空団と共同訓練を行つております。

(1) このことについては、
　　地域住民の不安、不満解消を図るため、更なる民生安定事業の推進と併せ、「再編交付金」の交付自治体に指定すること。

(2) 移転訓練実施に際しては、
　　関係自治体に訓練概要を事前に公表し、夜間の離着陸訓練は絶対に行わないこと。
　　これらについて、抗議を含めて仙台防衛施設局長に要望書を提出しております。

尚、この「再編交付金」にからむ再編特措法の施行令が8月15日の閣議で決定され、今月中には交付自治体等が公示される予定になつています。

更には、米軍の弾道ミサイル情報処理システム（ジェイタグス）の三沢基地配備についても、受け入れにあたつては、議員皆様のご理解を頂き、厳しく対処して参りました。又、この9月1日から防衛施設庁が防衛省に統合され、組織が大きく改編され新たなスタートをしました。

基地に隣接する町として、地域住民の安全安心を守るた

78戸の農家が加入、申請品目 横断的経営安定対策

平成19年度の品目横断的経営安定対策については、町とJAと連携しながら加入促進のための啓発を行つて参りました。結果として、78戸の農家が加入申請をされました。水稻の作付面積は155ヘクタールで、18年度作付面積に對し約11パーセントとどまります。又、大豆は54ヘクタールとなつております。長いも洗浄選別・貯蔵施設整備事業に係わる測量調査設計業務は、委託業者が決定され、10月16日までの工期で業務が進められております。前回から3年目となる、小川原湖底質調査を実施いたしました。過去2回の調査と比べ大きな変化は見られませんでしたが、悪化が懸念される小川原湖底質環境の把握のためにも、さらに継続的な調査を行う必要があると考えております。

湖水まつり・秋まつり・日の本
中央たいまつ祭開催される

商工観光課関係

7月1日に湖水開きをしましたが、その後、小川原湖、浜台西湖水浴場は連日の猛暑で大変な賑わいを見せていました。中、7月28日から29日の両日にわたり、小川原湖公園を主会場に東北町湖水まつりを開催しました。

初日は、第40回花火大会・第6回創作花火コンクールの外、第2回小川原湖よさこい祭りを開催しました。

よさこい祭りでは、地元の彩湖舞姫会の外、10チームの参加があり、花火大会までの時間を盛り上げ、大いに楽しませてくれました。

花火大会は、絶好のコンディションに恵まれ、夜空のキャンバスを色とりどりに描き、大きな歓声と拍手が会場に響き渡りました。

2日目は、手作りいかだレース、宝探し大会や、湖上特設ステージを利用したレーク演奏会などのイベントで賑わいました。

天候に恵まれたことも幸いし、初日は20万人、最終日3万人の方々が湖水まつりを楽しめたものと推測しております。

7日	しちのへ夏まつり	国道394号線整備促進期成同盟会総会
9日	東北町戦没者追悼式	東北町戦没者追悼式
10日	東北町遺族会	東北町遺族会
10日	中部上北議会議員・町大会	中部上北議会議員・町大会
10日	四役健康増進交流会 (グラウンド・ゴルフ大会)	四役健康増進交流会 (グラウンド・ゴルフ大会)
11日	東北町成人式	東北町成人式
11日	全員協議会	全員協議会
12日	宮城県南三陸町行政視察のため来庁	宮城県南三陸町行政視察のため来庁
12日	総務企画常任委員会	総務企画常任委員会
12日	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会
12日	監視評価会議	監視評価会議
13日	秋まつり(前夜祭)	秋まつり(前夜祭)
13日	秋まつり(初日)	秋まつり(初日)
13日	原子力施設環境放射線	原子力施設環境放射線
14日	秋まつり(最終日)	秋まつり(最終日)
14日	野辺地町政施行110周年記念式典並びに祝賀会	野辺地町政施行110周年記念式典並びに祝賀会
15日	中部上北総合防災訓練	中部上北総合防災訓練
15日	上北郡町村議会議長会全員協議会	上北郡町村議会議長会全員協議会
16日	教育民生常任委員会定例会(議長・局長合同会議)	教育民生常任委員会定例会(議長・局長合同会議)
16日	青森県民駅伝競走大会	青森県民駅伝競走大会
16日	東北チーム結団式	東北チーム結団式
16日	原子燃料サイクル対策等特別委員会	原子燃料サイクル対策等特別委員会
17日	東北町民駅伝競走大会	東北町民駅伝競走大会
17日	青森県民駅伝競走大会	青森県民駅伝競走大会
17日	東北チーム慰労会	東北チーム慰労会
17日	議会運営委員会	議会運営委員会
18日	活力ある県土づくりシンポジウム	活力ある県土づくりシンポジウム
18日	6月定例会開会	6月定例会開会
18日	東北町議会定例会(一般質問)	東北町議会定例会(一般質問)
19日	東北町議会決算特別委員会	東北町議会決算特別委員会
19日	東北町議会定例会(議案審議)	東北町議会定例会(議案審議)
19日	東北町長旗争奪親善グラウンド・ゴルフ東北町大会	東北町長旗争奪親善グラウンド・ゴルフ東北町大会
20日	日の本中央たいまつ祭	日の本中央たいまつ祭
20日	秋まつり(前夜祭)	秋まつり(前夜祭)
20日	日の本中央たいまつ祭	日の本中央たいまつ祭
20日	秋まつり(初日)	秋まつり(初日)
20日	八幡神社例大祭	八幡神社例大祭
20日	日の本中央たいまつ祭	日の本中央たいまつ祭
20日	秋まつり(中日)	秋まつり(中日)
20日	市町村長並びに市町村議長との意見交換会	市町村長並びに市町村議長との意見交換会
20日	江渡あきのり先生防衛副大臣就任祝賀会	江渡あきのり先生防衛副大臣就任祝賀会
20日	日の本中央たいまつ祭	日の本中央たいまつ祭
20日	秋まつり(最終日)	秋まつり(最終日)
20日	東北町かみきた観光行事反省会	東北町かみきた観光行事反省会

ます。又、同期間で、わかさぎ公園においても、湖水まつりが開催され、7月29日のわかさぎマラソンも盛大のうちに挙行されました。

8月23日から26日までの4日間、東北町秋まつりが上北町駅通りを中心に行われました。上北地区8町内会による、5年目を迎えた自主制作の山車運行、仮装大会のほか、4町内による神楽の運行、保育園児や彩湖舞姫会による前夜祭、仮装大会への参加、10町内会参加による流し踊りが行われました。

この4日間、大変な賑わいをもたらしたことは、地域住民が一丸となって、秋まつりを盛り上げたことが大きな要因であり、この場を借りて感謝を申し上げます。期間中は、天候にも恵まれ、延べ3万5千人もの人出があり、町民を大いに楽しませました。

尚、9月13日から16日まで4日間、乙供駅前広場を主会場に日の本中央たいまつ祭が行われます。みこし山車運行、仮装大会、流し踊り大会、ナニヤドヤラ大会、たいまつ祭終演花火、東北中生による吹奏楽パレード等いろいろなイベントがありますので、町

民多數の参加及び観覧されることをお願い申し上げます。

7月23日に、教育関係講演会が開催されました。「バ力の壁」の著者、養老孟司氏の講演会「豊かな人間性と学力の育成」をテーマとして、青森原燃テクノロジーセンターと共に開催しましたところ、東北町保・小・中、連携教育推進会議関係者や町内の教職員をはじめとして町内外から125名の多くの参加を頂き、盛会裏に開催することができました。

6月16日から18日までの3日間開催されました上北地方内各中学校3校とも、昨年に引き続き大活躍されました。上北中学校は、団体の部・6種目で準優勝し、個人の部・6種目で8名が1位、東北中学校は、団体の部・3種目で優勝、1種目で準優勝し、個人の部・10種目で10名が1位東北東中学校は、個人の部・4種目で、4名が2位の好成績を上げました。

以上、予選を突破した選手

体育大会・吹奏楽コンクールで中学生活躍

学務課関係

は、7月22日から24日までの3日間開催された、青森県中学校体育大会夏季大会に出場されました。その結果上北中学校は、柔道女子63kg級で第1位となり、東北大会に出場、柔道女子44kg級、柔道女子48kg級、柔道女子52kg級でそれぞれ第3位に入賞、東北中学0mで第1位、陸上競技男子共通80mで第1位、陸上競技男子2・3年1500mで第2位、陸上競技男子3000mで第1位と4位、陸上競技女子1500mで第2位、陸上競技女子2・3年1500mで第3位、陸上競技女子共通4種競技で第2位、ソフトテニス男子団体で準優勝、ソフトテニス男子個人で第3位、バドミントン男子ダブルスで第3位となり、それぞれ東北大会に出席されました。

又、東北中学校は、7月15日に開催された青森県吹奏

樂コンクール青森地区大会で、中学校小編成の部で金賞を受賞し、7月29日に開催された県大会において見事銅賞を獲得了。各種大会に出席されました選手の皆さんに心からその健闘を讃えるものであります。

6月9日、10日の両日、野辺地町を主会場に行われた、上北郡総合体育大会で、陸上競技・ソフトボール男子と女子・卓球男子・家庭婦人バレーボール・柔道・ボウリングの7種目を制して、総合優勝2連覇を達成しました。これは旧町から引き継いで10連覇となります。

7月14日・15日、三沢市を主会場に開催された北奥羽総合体育大会で、上北郡を代表して出場した野球と柔道競技が優勝し、総合で上北郡が準優勝しました。

6月23日、北総合運動公園で開催の青森県小学生駅伝競走大会に、県内各地から男子15チーム、女子16チームが参加し、東北町から4校が参加され、姥沢小学校が男女アベック

20日 東北町（上北地域） 敬老会

21日 県中学校駅伝競走大会 開会式 東北町（東北地区） 敬老会

22日 全国スポーツ・レクリエーション祭「スポーツあおもり2007」 開会式

23日 東北町民総合体育大会 七戸地区交通安全総決起大会

24日 自由民主党青森県支部 連合会定期大会

25日 六戸町町政施行50周年 記念式典並びに祝賀会

26日 東北町民総合体育大会 七戸地区交通安全総決起大会

27日 全国スポーツ・レクリエーション祭「スポーツあおもり2007」 開会式

28日 県民駅伝町の部13連覇達成・各種大会盛大に開催される スポーツ振興課関係

29日 6月9日、10日の両日、野辺地町を主会場に行われた、上北郡総合体育大会で、陸上競技・ソフトボール男子と女子・卓球男子・家庭婦人バレーボール・柔道・ボウリングの7種目を制して、総合優勝2連覇を達成しました。これは旧町から引き継いで10連覇となります。

30日 7月14日・15日、三沢市を主会場に開催された北奥羽総合体育大会で、上北郡を代表して出場した野球と柔道競技が優勝し、総合で上北郡が準優勝しました。

6月23日、北総合運動公園で開催の青森県小学生駅伝競走大会に、県内各地から男子15チーム、女子16チームが参加し、東北町から4校が参加され、姥沢小学校が男女アベック

20日 東北町（上北地域） 敬老会

21日 県中学校駅伝競走大会 開会式 東北町（東北地区） 敬老会

22日 全国スポーツ・レクリエーション祭「スポーツあおもり2007」 開会式

23日 東北町民総合体育大会 七戸地区交通安全総決起大会

24日 自由民主党青森県支部 連合会定期大会

25日 六戸町町政施行50周年 記念式典並びに祝賀会

26日 東北町民総合体育大会 七戸地区交通安全総決起大会

27日 全国スポーツ・レクリエーション祭「スポーツあおもり2007」 開会式

28日 県民駅伝町の部13連覇達成・各種大会盛大に開催される スポーツ振興課関係

29日 6月9日、10日の両日、野辺地町を主会場に行われた、上北郡総合体育大会で、陸上競技・ソフトボール男子と女子・卓球男子・家庭婦人バレーボール・柔道・ボウリングの7種目を制して、総合優勝2連覇を達成しました。これは旧町から引き継いで10連覇となります。

30日 7月14日・15日、三沢市を主会場に開催された北奥羽総合体育大会で、上北郡を代表して出場した野球と柔道競技が優勝し、総合で上北郡が準優勝しました。

6月23日、北総合運動公園で開催の青森県小学生駅伝競走大会に、県内各地から男子15チーム、女子16チームが参加し、東北町から4校が参加され、姥沢小学校が男女アベック

20日 東北町（上北地域） 敬老会

21日 県中学校駅伝競走大会 開会式 東北町（東北地区） 敬老会

22日 全国スポーツ・レクリエーション祭「スポーツあおもり2007」 開会式

23日 東北町民総合体育大会 七戸地区交通安全総決起大会

24日 自由民主党青森県支部 連合会定期大会

25日 六戸町町政施行50周年 記念式典並びに祝賀会

26日 東北町民総合体育大会 七戸地区交通安全総決起大会

27日 全国スポーツ・レクリエーション祭「スポーツあおもり2007」 開会式

28日 県民駅伝町の部13連覇達成・各種大会盛大に開催される スポーツ振興課関係

29日 6月9日、10日の両日、野辺地町を主会場に行われた、上北郡総合体育大会で、陸上競技・ソフトボール男子と女子・卓球男子・家庭婦人バレーボール・柔道・ボウリングの7種目を制して、総合優勝2連覇を達成しました。これは旧町から引き継いで10連覇となります。

30日 7月14日・15日、三沢市を主会場に開催された北奥羽総合体育大会で、上北郡を代表して出場した野球と柔道競技が優勝し、総合で上北郡が準優勝しました。

6月23日、北総合運動公園で開催の青森県小学生駅伝競走大会に、県内各地から男子15チーム、女子16チームが参加し、東北町から4校が参加され、姥沢小学校が男女アベック

オリンピック2回出場の花田勝彦氏を迎えて開催した「わかさぎマラソン大会」には、北は北海道、南は長崎県の各地から、約1200人のマラソン爱好者が集い、爽やかな小川原湖畔コースを健脚で競い合い、盛大のうちに終了することができました。

7月31日と8月1日に七戸町で開催の七戸町長杯兼七戸地区防犯小中学校野球・ソフトボール大会では、ソフトボールで第一小が優勝、小川原小が準優勝、野球で姥沢小が準優勝し、中学校は野球で上北中、ソフトボールで東北東中がそれぞれ優勝しました。

8月4日、B&Gスポーツ大会青森県大会が浜台わかさぎ公園を主会場に水上・剣道・水泳の3競技が実施され、剣道・水泳が団体優勝し、水上道でも多数の入賞がありました。

7月28日から8月11日の日程で、むつ市で開催された、市町村対抗青森県民体育大会に17競技19種目に総勢250名の選手団が参加され、野球・柔道が優勝、総合で3位と健闘し、県南でトップの成績となりました。

県内最大の駅伝大会である青森県民駅伝競走大会が9月6月の全日本卓球選手権青森県大会で入賞した「東北町卓

2日、青森市で開催され、町の部で見事優勝し、13連覇の偉業を達成されました。競技内容については、町民の皆さんには、テレビ観戦や新聞等でご承知のことと思いますが、優勝されたむつ市にわずか18秒及ばずの総合2位となり、又、8区間のうち、区間新記録1名、区間賞3名と大活躍をされました。このことにより、東北町の名を県下に知らしめた選手の皆さんと、同時に応援してくださいました町民の皆さんに改めて心より敬意と感謝を申し上げます。

10月27日に日中国交正常化35周年を記念して、中国・瀋陽市（シンヨウ）で開催される「2007中国瀋陽日中青少年友好駅伝大会」に優勝チームとして、正式に出場の招待をうけましたので、学校当局等のご理解を頂ければ是非派遣したいと思いますので議員皆様のご理解を頂きたいと思います。

海外での活躍と両国の青少年の交流が更に深まることをご期待しているところであります。

平成18年度 各会計決算9件を認定する



決算審査報告をする姥沢正雄委員長

9月定例会は、9月7日招集され13日までの4日間で開催されました。また、9月12日に決算審査特別委員会を設置（委員長 姥沢正雄）し、各会計9件が審議されました。なお、9月13日の本会議（議案審議）で原案どおりいずれも可決されました。審議された議案は以下のとおりです。

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	12,853,702,389	12,703,482,557	150,219,832
国 员 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計	2,919,199,777	2,742,668,999	176,530,778
老 人 保 健 会 計	2,143,022,722	2,126,591,391	16,431,331
介 護 保 健 会 計	1,766,339,830	1,683,583,088	82,756,742
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	721,382,165	713,227,659	8,154,506
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	77,102,938	76,200,997	901,941
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	247,778,684	238,932,343	8,846,341
介 護 サ ー ビ ス 事 業 特 別 会 計	8,635,500	7,688,079	947,421
水 道 事 業 会 計 (消費税は除く)	173,691,359	183,282,521	9,591,162

（単位：円）

7名の出席があり、盛会に挙行され、それぞれの思いのもうと、新たな人生のスタートをきりました。

8月15日、コミュニケーションセ

ンターで開催された成人式に

267名の対象者のうち16

8月15日、コミュニケーションセ</

9月定例会で審議された議案

◎平成18年度青森県新産業都市建設事業団特定事業の決算報告について	報告済	◎平成18年度東北町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で認定	◎平成18年度東北町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で可決	◎平成19年度東北町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で可決	◎平成19年度東北町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で可決
◎平成18年度青森県新産業都市建設事業団特定事業以外の事業の決算報告について	報告済	◎平成18年度東北町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で認定	◎平成18年度東北町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で可決	◎平成19年度東北町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で可決	◎平成19年度東北町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で可決
◎平成18年度東北町一般会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数で認定	◎平成18年度東北町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で認定	◎平成19年度東北町介護保険特別会計補正予算案	全会一致で可決	◎平成19年度東北町上水道事業会計補正予算案	全会一致で可決	◎平成19年度東北町上水道事業会計補正予算案	全会一致で可決
◎平成18年度東北町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で認定	◎平成18年度東北町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で認定	・予算の総額に8647万1千円を追加し、総額を18億4028万8千円とする。	全会一致で可決	・支出予定額を60万5千円追加し、収益的支出の予定額を1億9143万8千円とする。	全会一致で可決	・町道398・3208号線を町道認定するためのもの。	全会一致で可決
◎平成18年度東北町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で認定	◎平成19年度東北町上水道事業会計決算の認定について	全会一致で認定	・予算の総額に3万円を追加し、総額を2909万5千円とする。	全会一致で可決	・向旗屋生活道路舗装に関する陳情について	全会一致で採択	・財産の取得について	の設置戸数の変更が生じたので改正するもの。
◎平成18年度東北町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で認定	◎平成19年度東北町農業集落排水事業特別会計補正予算案	全会一致で可決	・東北町肉用繁殖牛特別導入事業基金に関する条例案が廃止され、青森県家畜導入事業に改められたため提案するもの。	全会一致で可決	・町道甲地・水喰線に通じる町道巴蘭・漆玉線の道路改良工事に関する陳情について	全会一致で採択	・町が新設する、ながいも洗浄選別・貯蔵施設の用地として土地を取得するためのもの。	全会一致で可決
◎平成19年度東北町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で可決	◎東北町営住宅管理条例の一部を改正する条例案	全会一致で採択	◎千曳小学校通学路（旧奥州街道）舗装に関する陳情について	全会一致で採択	◎アメリカ産牛肉の輸入条件に反対し、国内での全頭検査を維持する予算措置の継続を求める陳情について	全会一致で採択	・予算の総額に27万4千円を追加し、総額を7億3125万8千円とする。	・予算の総額に2940万8千円を追加し、総額を30億9151万円とする。
・予算の総額に7841万6千円とする。		・町営朝日団地建替整備事業の完了及び甲地団地解体工事完了等により、町営住宅							

平成18年度一般会計及び特別会計、企業会計の決算審査を8月1日から8月9日までの7日間実施した。

各会計の決算書並びに付属書類は計数が正確で事務も適正であると認められた。

なお、歳入において、収納率向上の努力は見受けられるが、今後においても町財政の健全化に向けた一層の取組みが望まれるところであります。

A black and white photograph of a man with dark hair and glasses, wearing a suit and tie. He is speaking into a microphone, which is positioned in the lower right corner of the frame. The background is a plain, light-colored wall.

決算審査報告要旨

- ◎日豪、日米などFTA・EPA促進路線の転換と、自給率向上にむけた施策の強化を求める意見書案
全会一致で可決

①各部屋の詳細など確定していないのか？

健康増進センターの各部屋及び全体面積は確定していないのか。ある程度確定している各部屋の面積など資料として出していただきたい。

A black and white portrait of James A. Farley, an older man with dark hair, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is looking slightly to his left with a neutral expression. The background is dark and indistinct.

健康増進センターについて

問質般一

四議員 町政を問う

答弁
建設課長
防衛庁に概算要望する段での、概略的な平面図はあるわけですが、具体的に各部屋の面積などは、今のところはございません。これから議会を含めて町内の各層、各界からもご意見を聞きながら、来年度の実施設計の策定に当たり、十分反映できるよう詰めていきたいと考えております。

町長 総体的に3700平米ぐらいということは全員協議会でも申し上げましたとおり、大体決まっております。図面ではある程度スペースを割り振りしておりますが、まだ調整する余地があるということです。どんどん知恵を出していただき、皆さんから広く意見を聞いて良いものをつくるというのを私どもの趣旨ですか、理解をいただきたい。

基本計画はあくまでも計画であり、委員会の考え方もあると思いますが、実際には地域の声を生かしてほしいという私の思いがあります。委員会の決定は、基本的な考え方として尊重していくというこ

町長 策定委員会の報告書は人件費が大雑把な計上であると里い、7500万円のところがペイラインでないのかなと思つております。かなりの時間をかけながら県内や全国の類似

答弁

現在、副町長を委員長として、特定検診等の運営委員会を発足させましたが、この施設をどのように利用するかはこれから協議になります。私どもとしては、保健師や栄養士などを採用して健康相談を、地域だけではなく、域外から来る人たちにもサービスを提供できる施設にしたいと思つております。

保健指導等に関しては、両地区の福祉センターや運動公園を生かすべきであり、風呂、プールの利用料金を現在よりずっと安くして大いに利用させたほうが有効ではないかと考えます。

③増進センターを拠点とした保健計画を示せ

先般の説明会で増進センターが特定検診、保健指導の拠点になつて予防効果と医療費の削減効果があると説明されたが、保健計画は、なされてい

るのか。

とは変わっていません。平面図の枠の中で調整していくといふことです。

④赤字はどこで負担するのか?

利用料で賄い、独立採算制のようですが、何百万、何千万と赤字になつた場合に一般財源から出すのか、それとも寄付を仰ぐのか。この目安をつけておかなければ当然承認できません。町長の計画を伺いたい。

⑤道の駅の隣接に建設を変更するのか?

説明会で建設場所を道の駅に隣接したほうがよいという意見がありました。それに対して町長は検討すると答えておりましたが、建設場所を変更する考えはありますか。

答弁

町長

位置の問題については、相乗効果、総体的なバランス、あるいは一体管理ということからすれば、今の位置よりも道の駅に隣接したほうが絶対生かせるというご意見、激励を議員の皆様からいただきました。この件については、防衛庁と相談して位置の変更をしたいと考えています。

質問一

わが町の小中学校の耐震状況と整備計画を示せ



岡山 粕男 議員

学校施設は、多くの児童生徒が1日の大半を過ごす学習、生活の場であり、さらには、地域住民の災害時の避難場所ともなる施設であります。したがって、安全で安心な施設でなければなりませんが、我が町の学校施設は青森県下で老朽化率が90・9%と第1位にランクされている。建築年が昭和30年代から40年代となつている学校が10校中7校となつていて、耐力度調査の状況はどうなつてているのか。また、整備計画があれば示していただきたい。

答弁

町長

を除いてすべて終わつてあります。整備計画は、今年度から上北中学校を改築、甲地小学校は新築ということで取り組んでいます。残りの学校施設についても優先順位を決めながら安全・安心を図つていただきたいと思っております。

質問二 今後の児童・生徒数の推計は?

出生率が低下し、少子化が進んでいる状況の中で平成20年以降の児童生徒の推計を学校別に示していただきたい。

答弁

町長

ご指摘のように、少子高齢化ということで我が町の状況も大変厳しい状況の中にあり、19年4月現在で小学生が1099名、中学生が569名、全体で1668名の子供たちがおります。学校別に20年から25年までの生徒数の推計は、小学校では第一小学校が15名減、上北小学校が35名減、川原小学校が17名減、甲地小学校は4名減、姥沢小学校が66名減、千曳小学校が24名減、水喰小学校が11名減となつて

現実に4月から、千曳小学校が複式学級になつてあり、20年度には、水喰小学校もなる予定です。また、21年には、第一小学校、23年には小川原小学校と、複式学級が予想される人数であります。このようない少子化によつて子供たちが少なくなつていく状況であります。

質問三 学校統合に伴う交付税への影響と町長の考え方を問う

学校の統合は、上北地区で小学校が昭和44年、45年、47年3回に7校が3校に、中学校は44年と47年に3校が1校に、そして東北地区では小学校が2校に統合したところです。中学校は平成6年に8校が2校に統合したところでありますが、当時の学区の住民の抵抗は大きいものがあつた

わけであります。昨今、住民地区が105名減り、合わせて172名減る見込みであります。中学校は上北中学校が16名減、東北東中学校が11名増、東北中学校が19名減となり、合わせて24名減となつております。また町長は学校統合についてどのようにとらえているのか、長期的な視点と学校統合への意思をお聞かせいただきたいと思います。

答弁

町長

影響は、小学校と中学校との違いはあるが、おおよその金額で1学級減ると1000万円、学校1校減ると900万円の交付税が減ることになります。ただし、統合による経費の減額もあるので単純に比較でいい、学校統合を全く無視するわけではない部分があることもご理解いただきたい。

統合はかなり厳しいと私は判断しています。地域の声といふのは非常に重みがあります。また、12月頃から座談会をや

りたいと思っており、その際、特に要望があれば伺いたいと思います。

う 一般競争入札導入の 進捗状況について問



議員治鉱名號

度以内に方向性を検討して法整備をし、県、他町村の動向を含めて一般競争入札導入の基準など、方向性を出したいたが、現段階での進捗状況を伺いました。そして、それから約6カ月が過ぎましたが、現段階での進捗状況を伺います。あわせて、検討会の回数及びそのメンバーについてもお伺いいたします。

健康増進センターについて

①民間業者を圧迫しないか

当町には、温泉を利用した
事業経営を展開し、他の町よ
うに、今後、両地区の福祉センター
(風呂) をどうするのか?

り安価な料金で町民に便宜を供している業者が数多くいるわけですが、当施設が温泉を利用した施設である限り、競業する面が相当多く、個人の

既存の上北保健福祉センター
東北町老人福祉センター等の
施設については、今後どのよ
うな取り扱いになるのかお尋
ねいたします。

皆さんに公金で建設し、個人経営を圧迫することになります。行政は、民業を圧迫することには避けなければならぬと思います。いいと思いますが、この点について町長の考えを伺います。

答弁

町長
民業の圧迫については全く
無いとは言い切れませんが、
入浴料は400円に設定する
予定であり、民間と差があ
りますので余り心配はないと思つ
ています。また軽食は別とし

て、当初の計画通り食堂や宿泊所は作らないことは守つていき、旅館組合等の理解をいただきていきたい。さらに、

地域の人たちの声も聞きながら、ある程度まとった段階で旅館組合員の皆様に一番説明しなければならないと思ひ

てあります。

②今後、両地区の福祉センター（風呂）をどうするのか？

既存の上北保健福祉センター、東北町老人福祉センター等の施設については、今後どのような取り扱いになるのかお伺いいたします。

もとに試算されておりますが、23万人というと1日約630人です。言いかえますと、大型バスで毎日15台です。道の駅に10分くらい寄っていくのとは違ひ、風呂は支度も必要である。また、風呂の利用時間がひとり1時間近くだとして、朝から晩までひつきりなしに来ても消化できるのか。私はどうにも考えにくいけが、23万人の根拠についてお伺いいたします。

泉のセンターがあることから、それを利用し、何か付加価値を付け、健康増進をするという考え方もあるのではないか。これは箱物建設であり、建設後の維持管理については、財政事情が心配な昨今、最も気を使わなければならぬ物件であり、私にはどうも必要性が見えてこないことから建設をやめるべきと考えるが、町長の考えを伺う。

健康増進センターができるとしても、両地区の地域性を考慮しながら継続していきたいと思っています。

③年間利用23万人の見込みに
疑問



増進センターの基礎データの根拠は道の駅であり、道の駅のレジをくぐつている方が年間21万6千人あります。そのことから道の駅に触れる人は大体50万人いるという根拠をもっています。また、上北道路による六ヶ所へのランインになつていくことや、道踏まえて、基準に基づいて算出してあります。また、PRの仕方もありますが、小川原湖を含めた宣伝や農産物を含めた価値などを道の駅、ふれあい村、増進センターの3点による一体感により、いやしの里として効果が出せるのではないかと思つております。収支については多少の変動があり、当然カバーしなければならない状況もあるかと思ひます。運動公園や保健センターにもそれなりの負担があるように、許される範囲があると思います。

答弁

町長



市川俊光議員

質問一

第一小、小川原小学校の子供たちのプール使用状況はどうであつたか?

町はことしから第一小学校と小川原小学校のプールを使用中止とし、上北地域でのプールの利用は上北小学校のみとされました。昨年までは、夏休みになれば、子供たちが暑さをしのぐための何よりの場所として集まつてきのが各学校のプールでした。小川原の場合は、学童保育の子供たちも毎日のように利用しておりましたが、今年の夏は一度もプールに入つておりません。私は、これまでの議会でも上北小学校のプールでは、他の学区からは利用しづらいということを指摘してきましたが、猛暑のこの夏、第一小、小川原小の学区から上北小学校のプールを利用した子供たちほどくらいのでしょ

うか。

答弁

町長

7月21日から8月22日までのプールの期間中、第一小学校の利用日数は7日間で、利用者は37名でした。これは学童保育全員で利用したこともあり、個人では1~2名程度かなということあります。小川原小学校については、利用日数が3日間で10名の利用者となつております。

質問二

町民プールを再開し、学校教育や町民の健康増進に役立てるべきではないか

どうしても学校プールの使用を中止せざるを得ないとすれば、活用すべきなのは町民プールではないでしょうか。町民プールは、屋内プールであり、天候によつて使用できなくなるということがあります。町民プールに入つておりません。また、県内でも数少ない50mプールであり、これまで中学校の部活動や水泳競技の大会にも活用されるなど、広く役立てられてきたプールですが、今年から学校のプー

ル同様に使用中止となつたのはとても残念なことです。小川原湖を抱えて、我が町の子供たちは、生涯この水辺生活をしていく中での学校教育の水泳、プール活動の位置づけというのは、しっかりとあつてしかるべきです。町民プールを修理、改修して使用できるようにすれば、学校教育にも、更には使い方次第で町民の健康増進にも大いに役立てていくことができます。なにかこれにかわる対応を考えることが教育行政に求められる仕事だと思いますが、その辺を来年からどうするのかしっかりと答えていただきたい。

町民プールについては、温泉の温度の低下もありますし、設備等にも財政負担が大きいことから、現在再開する考えはありません。現在、中学生はあります。現在、中学生には北運動公園のプールを使つてもらつており、学校からの片道をバスで輸送して対応していることも理解をいただきたいと思います。それぞれ利用価値があるところは、それなりに利用していきたいと思つております。

答弁

教育長

第一小、小川原のプールの廃止はさまざまな事情があり、特に安全性を考えて廃止せざるを得ませんでした。監視体制の厳格化により、上小のプール運営に当たつても専門の監視員を委嘱して子供たちの安全を優先しております。また、第一小、小川原の子供たちの利用を高めるために、バスの配車もやつております。

運営してみて、昼食をとる子供たちのために教室が解放されていなかつたことや、利用カードを上小の子供だけが持つているなど不備な点が見えてきましたので、来年は調査をしてどのような利用方法で運営すればよいか検討したい。

高校生への通学支援に取り組めないか

多くの自治体で、子供たちの成長をしっかりと支えていくことにも理解をいただきたいと思います。それぞれ利用価値があるところは、それなりに利用していきたいと思つております。

我が町には高校が無く、通学の一つではないかと考えます。

にJRの電車を利用している方がたくさんいるようですが、朝夕の大変忙しい時間帯に家族の皆さんが駅までの送り迎えをしていることが多いようです。こうした高校生の通学の状況を調査し、町内のどの地域からも交通手段の困難を考えずに希望する高校へと通学できるように、町としての対策をとっていくことはできないものでしょうか。お考えをお聞かせください。

答弁

高校生の通学について、担当課で調べたところ三沢高校三沢商業に行っている方が157名おります。それから、三本木高校、十和田工業、三本木農業高校の方が約100名、野辺地高校が34名、計291名の方が通学しておらず、多くの方がJRを利用して通学していることが推測されます。しかしながら、広範囲に集落があることや、放課後の補習、部活動などにより時間を使めてスクールバスと同じように巡回してというのではなくなり無理があるのではないかと考えます。

小川原地区にこそ戦闘機の騒音測定器を設置すべき

現在防衛庁の測定器は、町内では向山、菩提寺などに設置されていますが、小川原集落には設置されておりません。

小川原集落は、ご存じの通り、基地周辺地域で最も大きい集落であり、小学校や保育園、郵便局などがあり、騒音被害の実態を日常的に掌握されるべき集落であるはずです。なぜ基地進入直下の小川原集落には測定器は設置されないのか。当然設置すべきではないかというのが住民の強い意見であります。町長は住民説明会で出されたこの意見について、どう対応していくつもりなのかお答えをしていただきたいと思います。

答弁

町長

健康増進センター計画は白紙とすべき

員会をつくりまして、県から独自に測定器を借りてきて調査、報告し、町と連携しながら要望活動してきた経緯もあります。同じように独自の調査であれば地域の要望を踏まえながら対処していきたいと思つております。

質問五

また、計画書からすると利用の重点は温泉浴場になると思われますが、報告書に見積もられた営業収入を達成しようとすれば、必然的に町内の既存の公衆浴場の経営を圧迫せざるを得ない結果となるでしょう。

必要なことや道の駅をべりなくて困つているわけではなく、ふろ屋に通う回数を切り詰めなければならなくて困つているのです。また、外国人が使う新しいブールをつくるより、今ある子供たちのブールを使えるようにしてほしいというのが町民の願いです。町政は、町民が切実に求めていることにこそたえ、力を集中して取り組むべきであると考えます。これから町の財政に新たな負担となる可能性を持つ新たな施設をつくることは、多くの町民は望んでいます。多くの町民は望んでいません。増進センター建設計画は白紙とすべきと考えま

現在の騒音測定器の位置は防衛庁が配置をしております。この件については小川原学区にも設置してほしいことや、向山の測定器の位置の変更を防衛庁に要望しております。向山の場合は集落 자체が委

町が多額な財政を使つて取り組む事業でありながら、示されたコンセプトの中には、農林水産業を育てる、いつまでも元気でいられる健康づくり、周辺に在住する外国人との国際的交流など、曖昧で抽象的な表現しかされておらず、これから町政の中にどのように生かし、どんな成果を上げることを目的に、解決していくか目標値も明確に示す必要があります。町長は、91%の補助金を強調されるが、これまで全国の失敗した公共施設の例は、「補助金がつくから、安く出来るから」と同じ理屈でつくつて失敗していることからも妥当な発想ではないく、21世紀を生きていく町づくりの事業としては戦略に欠けていると言わざるを得ない。

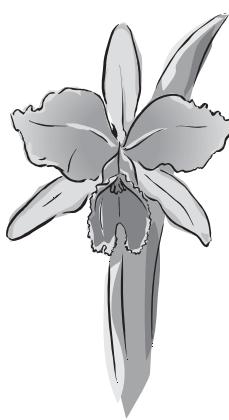
答弁

町長

すが、いかがでしょうか。

答弁

町長



各種委員会及び 協議会の活動

★総務企画常任委員会

開催日	事件(内容)
8月23日	所管事務調査 その他

★産業建設常任委員会

開催日	事件(内容)
8月27日	向旗屋生活道路舗装に関する陳情について 県道甲地・水喰線に通じる町道巴蘭・漆玉 線の道路改良工事に関する陳情について 千曳小学校通学路(旧奥州街道)舗装に する陳情について 日豪、日米などFTA・EPA促進路線の 転換と、自給率向上にむけた施策の強化を 求める意見書案 アメリカ産牛肉の輸入条件に反対し、国内 の全頭検査を維持する予算措置の継続を 求めた陳情について 管事務調査その他

★議会運営委員会

開催日	事件(内容)
9月3日	9月定例会付議事件の概要について 一般質問の通告状況について 請願、陳情等受理状況について 請願・陳情等の取り扱いについて 議会終了後の懇親会について その他

★教育民生常任委員会

開催日	事件(内容)
8月30日	所管事務調査 その他

★基地対策特別委員会

開催日	事件(内容)
7月20日	三沢基地に係る訓練移転について 三沢基地における第8飛行隊のF-2への 機種更新について ジェイタグス(JTAGS)三沢飛行場への 配備について

★全員協議会

開催日	事件（内容）
8月30日	七戸病院本館耐震診断結果について (仮称)小川原湖健康増進センターの基本計画について

★原子燃料サイクル対策等特別委員会

開催日	事件（内容）
8月31日	原子力施設の耐震性について 再処理工場の耐震計算ミス問題について その他

★議会広報特別委員会

開催日	事件（内容）
8月23日	議会だより第9号の編集について その他

○総務企画

常任委員会

(8月23日開催)

委員長 沼田 徳右衛門



委員会報告

所管事務調査結果
総務課では、総合流域防災事業について説明があり、これは洪水予報等の伝達方法、或いは避難場所等を明示した。地図を作成するため、浸水想定区域（東北町全域）を調査する事業（事業費3百万）で

質疑では、保育所運営費の減額について質疑があり、入所児童数の減少（当初817人、補正後790人、最終見

あるとのことでした。次に財政課では、一般会計補正予算案（第2号）の概要について説明があり、これは、既定額に3億1268万円を追加する内容でした。歳入の主なものは、普通交付税1億1523万1千円、特定防衛施設周辺整備調整交付金800万円、立木売払収入4323万4千円、老人保健特別会計繰入金2656万8千円、介護保険特別会計繰入金1634万3千円、前年度繰越金8568万9千円、蓼内・根前線改良舗装事業債25107589万2千円、減債基金積立金1億1億30万3千円、部分林組合分収交付金2699万3千円、特定防衛施設周辺整備事業費1100万円、保育園運営費2134万4千円、道路新設改良費2534万3千円でした。補正後の基金の状況は、財政調整基金7億2979万8千円、減債基金2億127万円、その他の目的基金13億8007万4千円でした。

次に選挙管理委員会では、各選挙（県議会、県知事、参議院）が終了したことによる選挙費の補正について説明がありました。

次に、他の所管事項として、町有地の残地用地について質疑があり、調査は終了

し、取りまとめ中である。公
共施設の状況と一緒に、10月
以降、機会を見て開示したい
とのことでありました。また、
委員会でも早い時期に現地を
確認することにしました。

○ 産業建設

常任委員會

(8月27日開催)

所管事務調査結果
調査の方法として、陳情第5号、6号の現地調査にあわせ、町道認定路線の現地調査をおこない、その後、担当課より説明を求め、質疑をおこないました。
建設課では、道路橋梁維持費の補正（300万円）について説明があり、これは蛭沢小学校前の国道394号に信号機が設置されることから、



表町・甲田線に80mの歩道を設置するための予算。また、道路新設改良事業費の2534万3千円の追加は、ふるさと農道事業から大量の残土が出るため、これを有効利用し、蓼内・根前線に暫定盛土工をするとのことでした。次に、住宅管理条例の一部を改正する条例案では、朝日団地が建替事業により58戸から38戸に、甲地団地は解体除去により管理戸数がなくなつたことから改正するとのことでした。質疑では、甲地団地について質疑があり、町の整備計画及び県の住宅整備マスター・プランにも載つていることから、財政が好転すれば、今後建設する予定であるとの回答でした。

する条例案については、国圓の事業の廃止に伴つて、今年度から県が単独に引き継ぐことになったことから、新しく基金条例を設置するものであることでした。これにともなつて、国庫補助金の返還（149万4千円）が生じることのことでした。また、財産の取得については、ながいま洗浄選別・貯蔵施設のため用地を取得するものであるとのことでした。



所管事務調查結果

改正するとのことでした。質疑では、甲地団地について質疑があり、町の整備計画及び県の住宅整備マスター・プランにも載っていることから、財政が好転すれば、今後建設する予定であるとの回答でした。次に農林畜産課では、あおもり農産物安全性確保対策事業（41万円）の補正について説明があり、二れは食品の安

次に商工観光課では、へら鮎いけす設置補助金（33万円）の補正について説明があり、これは毎年、全国花切川へら鮎いけす大会を開催しているが、全然釣れないということで、試験的に10月から4月まで花切川にいけすを設置する補助金であるとのことでした。質疑では、東北町商工会について、商工会の敷地を投湯、議

議会について質疑があり、上北地区には受益者負担金はあるが、東北地区には受益者負担金がない。それを合併時に3年後に見直しをすることにして、いたので、受益者負担金の扱いを協議するため、審議会において審議するとの回答でした。

所管事務調查結果

委員長 佐々木 スミヨ

○教育民生

常任委員会

(8月30日開催)

また、介護保険特別会計では、既定額17億5381万7千円に8647万1千円を追加し、総額で18億4028万8千円とする補正予算の概要について説明がありました。歳入の主なものは、前年度繰

越金8275万5千円でした。歳出の主なものは、国庫等への償還金4860万6千円、一般会計繰出金1634万3千円、基金積立金2千万円でした。次に町民課では、国保会計補正予算案について説明があり、歳入歳出それぞれ7841万6千円の追加補正するもので、歳入の主なものは国保金396万2千円、前年度繰越金9653万円でした。歳出での主なものは、職員退職に伴う人件費396万2千円、財政調整基金積立金863万3千円、予備費25万5千円でした。

また、老人保健会計補正予算案では、歳入歳出それぞれ2940万8千円追加補正是するもので、歳入の主なものは国庫支出金1558万9千円、繰越金1643万円であり、歳入の主なものは、諸支出金の一般会計繰出金2656万8千円でした。

次に学務課では、歳入12万2千円、歳出188万4千円とする補正予算案について、説明がありました。歳入の主なものは奨学基金利子4万2千円、奨学基金寄付金8万円でした。歳出の主なものは委

託料で、教育施設費委託料では、東北中防風林枝落とし委託料26万3千円、用務員業務委託料88万9千円でした。この用務員委託料については、これまで役場職員を配置していたものを10月から民間委託するとのことでした。甲地小学校改築事業費委託料では、建築基準法の改正に伴う新構造基準適合計算書作成業務委託料72万4千円でした。

委員長 蝶沢正雄 (8月31日開催) ○原子燃料サイクル対策等特別委員会 原子力施設の耐震性について 耐震設計診査指針改定の概要及び新潟県中越沖地震を踏まえた日本原燃株式会社の対応について、並びに新潟県中越沖地震を踏まえた改善計画（経済産業大臣からの指示（平成19年7月20日）に対する改善計画を7月26日に報告）の説明がありました。

質問..再処理工場における燃料取扱装置及び第1チャンネルボックス切断装置に関する耐震計

sクラスが一緒になつてSクラスになつています。例えば再処理工場の場合は、燃料槽あるいはプルトニウム溶液を内臓しているような系統は、Aクラスということになります。それから、Aクラスとしては主排気筒があります。皆様にご迷惑のかかる、いわゆる放射能物質を外に出して環境への影響が起こるようなものについてはAクラスで設計されていますので、問題ないだろうと考えています。柏崎の2・5倍、2・7倍というような地震がきても、設備としては十分健全性が保たれていると考えられている。

質問..再処理の施設も傾斜地を若干盛土している。そうなるとダクトが外れて外部に放射能が漏れる可能性がある。その辺の強度がどうなつてているか。

回答..重要な部分は3段階

(S、B、C)に分けている。

新しい指針はAクラスとA



委員長 蝶沢正雄

(8月31日開催)
○原子燃料サイクル対策等
特別委員会

原子力施設の耐震性について
耐震設計診査指針改定の概要及び新潟県中越沖地震を踏まえた日本原燃株式会社の対応について、並びに新潟県中越沖地震を踏まえた改善計画（経済産業大臣からの指示（平成19年7月20日）に対する改善計画を7月26日に報告）の説明がありました。

質問..再処理工場における燃料取扱装置及び第1チャンネルボックス切断装置に関する耐震計

sクラスが一緒になつてSクラスになつています。例えば再処理工場の場合は、燃料槽あるいはプルトニウム溶液を内臓しているような系統は、Aクラスということになります。それから、Aクラスとしては主排気筒があります。皆様にご迷惑のかかる、いわゆる放射能物質を外に出して環境への影響が起こるようなものについてはAクラスで設計されていますので、問題ないだろうと考えています。柏崎の2・5倍、2・7倍というような地震がきても、設備としては十分健全性が保たれていると考えられている。

質問..再処理の施設も傾斜地を若干盛土している。そう

なるとダクトが外れて外部に放射能が漏れる可能性がある。その辺の強度がどうなつてているか。

回答..重要な部分は3段階

(S、B、C)に分けている。

新しい指針はAクラスとA

再処理工場における燃料取扱装置及び第1チャンネルボックス切断装置に関する耐震計

回答..重要な部分は3段階

(S、B、C)に分けている。

新しい指針はAクラスとA

とを確認している。それ

から、沿岸10kmの活断層を調

査しまして、沿岸に平行

て走る断層が無いことを確認しているものですから、十分な耐震安全性を持ち得るということで、再処理施設については、新指針に基づいたバックチェックと並行してアクティブ試験を行っていただきたいと、うふうに思っております。

質問・自衛の消防隊は相当数の防護服があるだろうと思

うが、消防署にどれだけの数の防護服が配備されるか。それから広域消防との連携について、どのようにとり組んでいるのか。

回答・六ヶ所消防には置いてあります、それ以外の消防署にどれくらい置いてあるか調べさせていただきたい。また、中部上北との連携がどうなっているかといふことです、が、北部上北との連携は常時やつてあります。それから、専用線も置いてあります。そこはしつかりしたものが構築されている。中部上北も含めた広範囲な連携については、調べさせていただ

質問・風評被害について

回答・具体的に新潟で、どの程度の風評被害が起つているかということは、新聞報道等でしか知り得てありません。事業者も公表していません。我々としては何かあつた時は、皆さんのお気持ちは十分理解しているつもりですので、なんとか風評被害を起こさないよう

な形で正確な情報を迅速に、そして初期対応が重要だと考えております。

回答・県とか原燃はシーベルトを使って、新聞を見るとベクレルになつていて、我々は単位の意味がよくわからぬ。この辺もマスコミにも統一してもらわないと理解しにくい部分がある。その辺もこれからやつてもらわないとならない。

質問・防災無線は、六ヶ所は六ヶ所で流れるけれど、野辺地は北部上北事業組合ですから、その辺の連携が取れていると思うが、野辺地より六ヶ所に近い5km圏内にある東北町の集落に万が一の場合連絡がとれない。それで救援体制ができないとなると大変な事態が生じる。この辺は統一し、総合的な観点からきちんと整理してもらわないと。

回答・それはご指摘のとおりでして、一番重要なのは人体に与える影響。これはミニシーベルトという単位でいわれる。それが一番重要な体制になつております。それは構築されている。中部上北も含めた広範囲な連携については、調べさせていただ

質問・風評被害について

回答・具体的に新潟で、どの程度の風評被害が起つているかということは、新聞報道等でしか知り得てありません。事業者も公表していません。我々としては何かあつた時は、皆さんのお気持ちは十分理解しているつもりですので、なんとか風評被害を起こさないよう

な形で正確な情報を迅速に、そして初期対応が重要だと考えております。

回答・それはご指摘のとおりでして、一番重要なのは人体に与える影響。これはミニシーベルトという単位でいわれる。それが一番重要な体制になつております。それは構築されている。中部上北も含めた広範囲な連携については、調べさせていただ

質問・風評被害について

回答・具体的に新潟で、どの程度の風評被害が起つているかということは、新聞報道等でしか知り得てありません。事業者も公表していません。我々としては何かあつた時は、皆さんのお気持ちは十分理解しているつもりですので、なんとか風評被害を起こさないよう

回答..更に関係市町村で、核燃税の隣接配分について要請をしていきたい。

○基地対策

特別委員会

(7月6日開催)



委員長 森川盛人

三沢基地に係る訓練移転について

【訓練移転の概要】

2006年5月1日に公表された「再編実施のための日米のロードマップ」により、嘉手納、三沢、岩国飛行場の3米軍施設からの航空機が、千歳、三沢、百里、小松、築城(ついき)及び新田原(にゆうたばる)の自衛隊施設から行われる移転訓練に参加する。双方は将来的共同訓練・演習のための自衛隊施設の使用拡

大に向け取り組むこととされた。これを受けて、平成19年1月31日に公表された「米軍再編に係る訓練移転に関する平成19年度計画」の概要が示された。

- 1回につき1~5機の米軍機が1~7日間参加する訓練。19年度内に嘉手納、岩国及び三沢の3米軍施設から、千歳、三沢、百里、小松、築城、新田原基地へ計12回程度予定されている。
- 1回につき6~12機の米軍機が8~14日間参加する訓練。これは19年度内に計3回程度予定されている。
- 共同訓練米軍自衛隊の実施基地、訓練時期、訓練概要は適宜公表し、関係自治体に通知する。ただこの訓練は、三沢から他飛行場に行くこともあるし、他飛行場から三沢へ来ることもある。こういう出入りがある。
- 訓練は、三沢飛行場及びその近隣の上空を使用しての訓練は行わない。決められた訓練区域、例えば太平洋とか日本海等での訓練などは行わない。

2006年5月1日に公表された「再編実施のための日米のロードマップ」により、嘉手納、三沢、岩国飛行場の3米軍施設からの航空機が、千歳、三沢、百里、小松、築城(ついき)及び新田原(にゆうたばる)の自衛隊施設から行われる移転訓練に参加する。双方は将来的共同訓練・演習のための自衛隊施設の使用拡

た。これを受けて、平成19年1月31日に公表された「米軍再編に係る訓練移転に関する平成19年度計画」の概要が示された。

1) 訓練移転を受入れ表明することにより再編交付金が交付されることになる。

□) この交付金は、在日米軍の再編にからみ戦闘機の訓練移転等に伴つて、負担増、要するに騒音被害等を受け入れる自治体に対し10年間の时限立法で再編交付金が交付される。

ハ) 再編交付金の交付基準である騒音第二種区域向山地区の一部が当町に所在する。したがつて、わが東北町としても負担増が避けられない状況にあることから、交付対象自治体指定の要請をする。

2) 訓練移転先の基地を抱える全国22の市町村は既に受け入れを表明している。青森県では三沢市(三沢基地)つがる市(車力分屯基地)Xバンドレーダー)が関係しています。

ホ) 再編交付金を支給することを柱とした米軍再編推進法が本年5月23日に可決、成立している。これを受けて3ヶ月以内に政、省令等が整備され、対象防衛施設及び対象市町村が明記され、したがつて、8月頃までに確定されると考えている。

ト) 再編交付金の交付対象事業は箱物事業だけでなく、地元の防犯対策や環境育成など、住民生活の利便性向上・産業振興に寄与するようなソフト事業も対象になる見込みとなつていて。

質疑・意見等】

質疑..市町村の負担増とは、どのような負担増か。

回答..金銭的な負担の増ではありません。訓練のため騒音をまきちらすという意味での負担増ということです。

質疑..この訓練は19年度限りか。

回答..今年度も含め、19年度以降もということです。

意見..東北町は三沢基地の隣接であつて、騒音被害等で地元並みの負担がなされ、議会の理解を頂いて、力強く要望していきます。

質疑..緊急的に全員協議会をやらなければならぬほど重要な案件をなぜ今、特別委員会という形になつたのか。事前にわかつていたのでは。

以上のような質疑、意見があり、訓練移転の受け入れにいうぐらいの意思表示が必要でないか。

見はありませんでした。

質疑..5月に再編計画が公表され、三沢市は特別委員会等で事前に対応している。

また、8月に再編交付金対象市町村が公表される。もつと早く情報を得て対応すべきでなかつたか。

説明があつたのは、7月3日が最初です。再編交付金の対象自治体になるかどうかについて勉強不足であった経過等の情報を含めてお詫びいたします。全員協議会の理解を頂いて、力強く要望していきます。

質疑..7月3日にこの計画の概要がわかりました。緊急を要したということでご理解いただきたい。

回答..7月3日にこの計画の概要がわかりました。緊急を要したということでご理解いただきたい。

(7月20日開催)

三沢基地における

第8飛行隊のF-12への機種更新について

三沢基地に配置されている戦闘機F-4の老朽化に伴うF-2への機種更新は当初、平成18年度からの予定であったが、予算の都合で遅れ、今年度から3カ年で行う。このF-2はF-4に比べて騒音が割程度低い。F-4は平成20年度で使用廃止となる。

ジェイタグスの配備は、弾道ミサイル防衛システムの能を強化するものであり、我が国の安全保障及び日米同盟関係の強化に資するもの。ジェイタグスの運用により周辺住民の健康や環境に対する影響はない。また、ラジオ及び航空通信に障害があつたとの実例はない。通常の運用は商業電源から電力が供給され騒音の問題はない。ジェイタグスの配備により新たな通信システムが配備され、や現有の航空機による飛行回数も増えるとともに、三沢飛行場の基地インフラ等への大きな影響は見込まれていない。よつて、基地機能の強化は、三基の衛星アンテナと受信機、通信装置、表示装置などで構成。早期警戒データを受信・処理し、ミサイルの着弾予想や時刻を割り出し、迎撃ミサイル部隊などに伝える。

衛星から弾道ミサイルの発射は、弾道ミサイル攻撃から日

本国民の生命・財産を守るために純粹に防衛的代替手段の唯一の手段である。

原燃も基地も軒下にいながら、何の恩典も受けられないで来ている悔しさがある。

平成19年度東北町国民健康保険事業特別会計補正予算案

全会一致で可決

◎平成19年度東北町上水道事業会計補正予算案

全会一致で可決

◎平成19年度東北町一般会計補正予算案

全会一致で可決

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

〔質疑・意見等〕

三沢飛行場への配備について計画によると、ジェイタグス運用のために、米国コロラド州コロラド・スプリングスにある米陸軍第一宇宙中隊分遣隊18人が配置される。配備時期は8月を予定しており、日本国内での運用は初めて。

ジェイタグスは移動式のユニット型で、三基の衛星アンテナと受信機、通信装置、表示装置などで構成。早期警戒データを受信・処理し、ミサイルの着弾予想や時刻を割り出し、迎撃ミサイル部隊などに伝える。

◎平成19年度東北町一般会計補正予算案

催され、次の議案が可決されました。

安全・安心対策や騒音対策、地域振興策の実施を求める意見が述べられた。

以上のよう、地元並みに大きな影響は見込まれていません。よつて、基地機能の強化

ではない。

原燃も基地も軒下にいながら、何の恩典も受けられないで来ている悔しさがある。

これから、この種のものが来ると思う。東北町は小川原湖を含め、飛行場の軒下なのだから、全てこの種の諸々のことがあつたら、「地元三沢並みにいろいろした配慮を」ということを行ふべきである。そこで、それを国に要請して、そうでなければ、特別委員会では認め難い」としたらどうなのか。

以上のよう、地元並みに大きな影響は見込まれていません。よつて、基地機能の強化

ではない。

原燃も基地も軒下にいながら、何の恩典も受けられないで来ている悔しさがある。

これから、この種のものが来ると思う。東北町は小川原湖を含め、飛行場の軒下なのだから、全てこの種の諸々のことがあつたら、「地元三沢並みにいろいろした配慮を」ということを行ふべきである。そこで、それを国に要請して、そうでなければ、特別委員会では認め難い」としたらどうなのか。

・これを機会に住宅防音区域の見直しをしてもらわないといらない。

・基地も原燃も地元並に。さもなければ隣接でも一ランク上に位置付けできないか。再三再四、こういう機会を設け、進んでいくべきだ。

◎平成19年度東北町一般会計補正予算案

催され、次の議案が可決されました。

安全・安心対策や騒音対策、地域振興策の実施を求める意見が述べられた。

以上のよう、地元並みに大きな影響は見込まれていません。よつて、基地機能の強化

ではない。

原燃も基地も軒下にいながら、何の恩典も受けられないで来ている悔しさがある。

これから、この種のものが来ると思う。東北町は小川原湖を含め、飛行場の軒下なのだから、全てこの種の諸々のことがあつたら、「地元三沢並みにいろいろした配慮を」ということを行ふべきである。そこで、それを国に要請して、そうでなければ、特別委員会では認め難い」としたらどうなのか。

・予算の総額に291万7千円を追加し、総額を103億387万8千円とする。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（機械設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（電気設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・予算の総額に291万7千円を追加し、総額を103億387万8千円とする。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（機械設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（電気設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・予算の総額に291万7千円を追加し、総額を103億387万8千円とする。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（機械設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（電気設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・予算の総額に291万7千円を追加し、総額を103億387万8千円とする。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（機械設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（電気設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・予算の総額に291万7千円を追加し、総額を103億387万8千円とする。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（機械設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（電気設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・予算の総額に291万7千円を追加し、総額を103億387万8千円とする。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（機械設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（電気設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・予算の総額に291万7千円を追加し、総額を103億387万8千円とする。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（機械設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（電気設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・予算の総額に291万7千円を追加し、総額を103億387万8千円とする。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（機械設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（電気設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・予算の総額に291万7千円を追加し、総額を103億387万8千円とする。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（機械設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（電気設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・予算の総額に291万7千円を追加し、総額を103億387万8千円とする。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（機械設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（電気設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・予算の総額に291万7千円を追加し、総額を103億387万8千円とする。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（機械設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（電気設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・予算の総額に291万7千円を追加し、総額を103億387万8千円とする。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（機械設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（電気設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・予算の総額に291万7千円を追加し、総額を103億387万8千円とする。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（機械設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（電気設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・予算の総額に291万7千円を追加し、総額を103億387万8千円とする。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（機械設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（電気設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・予算の総額に291万7千円を追加し、総額を103億387万8千円とする。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（機械設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（電気設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・予算の総額に291万7千円を追加し、総額を103億387万8千円とする。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（機械設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築（電気設備）工事について請負契約を締結するためのもの。

◎工事請負契約の締結について

全